



令和8年5月29日  
6月号 No.490  
発行責任者  
校長 西村 学徳  
所在地 福生市熊川 623

## 子供たちの主体性が創り出す 活力ある学校生活 ～委員会活動を通して～

校長 西村 学徳

初夏の風が心地よい季節となりました。新校舎の屋上では、6年生の有志児童と育てているヒマワリや野菜がすくすくと背を伸ばし、私もその生長を子供たちと楽しんでいます。また、今年度からの外部委託による水泳指導も順調にスタートし、専門施設で力いっぱい泳ぐ子供たちの姿には、確かな充実感があふれています。

さて、5月のある日の休み時間のことです。子供たちの遊びの様子を見ようと玄関を出ると、強い日差しの中、中央の花壇で一生懸命に花に水やりをしている生活・美化委員の子がいました。校舎内では、計画代表委員の子供たちがビブスを着て、元気に挨拶運動を行っていました。休み時間であっても「学校のために」と、力を尽くす子供たちの姿に、嬉しさと頼もしさを感じました。



花壇への水やり

本校では、高学年の全児童が9つの委員会のいずれかに所属し、学校運営の一翼を担っています（計画代表委員会には、4年生の代表児童も参加）。

委員会活動のねらいは、学校生活を自らの手で向上させ、より豊かにしていくことにあります。子供たちがアイデアを出し合い、創意工夫を凝らしながら、仲間と協力して課題を解決していくことこそが、何よりの学びとなります。

先日行われた「委員会紹介集会」では、どの委員会からも「自分たちの手で学校をもっと良くしたい」という前向きな思いが強く伝わる素晴らしい活動計画が発表されました。また、計画代表委員会からは、『思いやりで一人一人が輝ける二小』というスローガンとともに、その達成に向けて「どんな人にも優しく、思いやりを忘れず、みんなが楽しめる学校をみんなで作ろう」という思いも発表されました。「みんなで」という言葉には、「一人一人が主体的により良い学校づくりに関わってほしい」という決意が込められています。



委員会紹介集会

先述のこと以外にも最近では、体育委員会が体力テストに向けた練習会を、集会委員会が「全校カバディ集会」を企画・運営してくれました。今週行われた「全校ロング集会」では、今回は7つの委員会が運営に関わり、他学年との交流が深まりました。

こうした高学年の主体的な姿は、学校全体の活力を生み出す大きな原動力となっています。そして、下級生の「5・6年生になったらあの委員会に入りたい」「5・6年生のように自分たちで楽しい活動を考えたい」という、高学年への憧れや敬意にもつながっています。

子供たちが自分たちの手で学校を良くしていく経験は、子供たちをさらに輝かせ、確かな自信や愛校心を育てていきます。私たち教職員は、これからも子供たちの「主体性」を大切に、子供たちが自ら創造していくその歩みを全力で支えてまいります。

◎4月29日に市内で発生した事件に際して、児童の安全な登下校のために多くの保護者・地域の皆様に、送り迎え・見守り・見回り等のご協力を賜りました。誠にありがとうございました。